

1 単元構想図

単元名	「ぐんぐんそだて わたしの野さい」(全10時間)
内容	(7) 動植物の飼育・栽培



<p>単元でつきたい力</p> <p>○植物が生命をもち、成長していることに気付く。【知】</p> <p>○植物の変化や成長の様子に関心をもって働きかけることができる。【思】</p> <p>○生命に親しみをもち、大切にしようとする。【主】</p>
--

2 単元について

○ 単元観

本単元は、学習指導要領の内容（7）「動植物の飼育・栽培」を受けて設定したものである。

本単元は、植物を継続的に栽培する活動を通して、植物が生命をもっていることや成長していることに気付くとともに、植物の変化や成長の様子に関心をもって働きかけ、親しみをもって大切にしようとする態度を育成できる単元である。

○ 児童観

本学級の児童は、1年生の時の栽培で、アサガオや野菜を育てて、喜んで収穫した。「春だ今日から2年生」の学習では、校庭や学校周辺の春の自然と関わる活動や、身近な地域を歩く活動を通して、季節が変化していることに気付いたり、自分たちの生活を楽しくしようとしたりするとともに、安全に気を付けて生活しようとしてきた。自然の様子に目を向け、小さなことにも気付き、意欲的に活動することができたが、生命に親しみを持ち、大切にしようとする態度が見られない児童もいる。

○ 指導観

第1次では、1年生のときに何をどのように育てたかを振り返りながら、育てたい野菜を決め、苗を植える活動を行う。その際、季節や場所など、野菜を育てられる条件を図鑑で調べたり、野菜作りに詳しい人に聞いたりして決めさせる。

第2次では、自分の育てている野菜が成長していることに気付かせるとともに、1年生での経験や、野菜作りに詳しい人に世話の仕方を聞いたり、本で調べたりして、野菜の生育状況に応じて世話の仕方を考えさせたい。

第3次では、記録カードなどを基に、野菜の様子をつたえ合い、同じような特徴や、違いがあることに気付かせるとともに、友だちとこれからの世話の仕方を話し合い、野菜の世話に生かせることを考えさせる。

第4次では、野菜の取り頃について話し合い、収穫する活動を通して、自分が世話を工夫したことで野菜が大きく成長したことに気付かせるとともに、自分の育てた野菜の様子や自分のしてきた世話のことをまとめる活動を通して、栽培活動で見つけたことや頑張ったことを伝える相手を意識させ、相手がどのように反応するか考えながら、伝える内容や、伝える方法を考えさせる。また、次にはどのように野菜を育てたいかを考えさせる。

3 単元の目標

野菜を継続的に栽培する活動を通して、これまでの経験を基に野菜の変化や成長の様子に関心をもって働きかけ、野菜が生命をもっていることや成長していることに気付くとともに、生き物に親しみを持ち、大切にしようすることができる。

4 評価規準

○単元の評価規準

A 知識・技能	B 思考・判断・表現	C 主体的に学習に取り組む態度
野菜を継続的に栽培する活動を通して、野菜が生命をもっていることや成長していることに気付いている。	野菜を継続的に栽培する活動を通して、野菜の変化や成長の様子に関心をもって働きかけている。	野菜を継続的に栽培する活動を通して、生き物に親しみを持ち、大切にしようとしている。

5 指導と評価の計画（全10時間）

次	学習内容（時数）	評価				
		知	思	主	評価規準	評価方法
第1次 (2)	1年生のときの経験を想起したり教科書を見たりしながら、自分達で栽培する野菜を決める。(1)		○		<ul style="list-style-type: none"> 自分の育てたい野菜を、栽培する時期や場所などの条件で分類しながら、これから育てる植物を決めている。 	<ul style="list-style-type: none"> 発言 記録カード
	苗を植えたりして、気付いたことを記録カードにかく。(1)					
第2次 (3) 本時 1/3	野菜の成長の様子を紹介し合い、必要な世話について話し合う。(1)	○			<ul style="list-style-type: none"> 自分の育てている野菜が成長していることに気付いている。 1年生での経験や身近な人に聞いたことを基に、野菜の成長の様子を思い描きながら世話の仕方を決めている。 育てている野菜の状況に応じて、世話の仕方を考えようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 発言 記録カード 行動観察
	野菜の様子を紹介し合ったり、必要な世話について話し合ったりしながら世話をし、野菜の成長の様子や世話の様子などを記録カードにかく。(2)		○	○		
第3次 (2)	野菜の成長を報告する会を開き、育てている野菜の成長の様子や世話の仕方を紹介し合い、気付いたことを記録カードにかく。(2)	○			<ul style="list-style-type: none"> 異なる植物にも、同じような特徴や違いがあることに気付いている。 適切な方法で、野菜の世話をしている。 友達と自分の世話の仕方を比べながら、自分の野菜に適した世話の仕方を決めている。 	<ul style="list-style-type: none"> 発言 記録カード
第4次 (3)	収穫したときのことを振り返り、気付いたことを紹介し合う。(1)	○			<ul style="list-style-type: none"> 自分が世話を工夫したことで、野菜が大きく成長したことに気付いている。 野菜を育てることのよさを実感し、これからも継続的に植物と関わろうとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 発言 記録カード
	かきためてきた記録カードをまとめ、紹介し合い、今度その野菜を育てる人のために育て方ブックを作る。(2)			○		

6 展開

◆第2次 本時(3/10)

本時の目標	植物の状況に応じて世話の仕方を考え、よりよい世話に気付くことができる。	
観点別評価規準	育てている野菜の状況に応じて、世話の仕方を考えようとしている。【主】	
準備物	付箋、聞いたよカード、ふりかえりシート	
学習の展開		
活動の流れ	児童の意識の流れ	評価方法
1. 野菜の様子について振り返り、観察カードや野菜の様子を見て気付いたことを付箋に書いて出し合い、話し合う。(15分) 2. 本時の課題を確認する。(3分)	<ul style="list-style-type: none"> ・少しせがのびた。 ・虫がついている。 ・たおれそうになっている。 ・はからトマトのにおいがする。 ・めが出た。 ・元気がない 	
めあて もっともっと大きくせいちょうさせるためにはどうしたらいいのかな。		
3. 話し合っ出てきた、野菜のようすの解決方法をグループで考え、発表する。(10分) 4. 身近な相談できる相手を出し合う。(10分) 5. 本時を振り返る。(7分) (考えたこと・思ったこと)	<ul style="list-style-type: none"> ・肥料をあげたらいいんじゃないかな。 ・水をたくさんあげたらどうかな。 ・本で調べてみようよ。 ・おじいちゃんが、この野菜を育てているよ。 ・野菜作りに詳しい人はいないかな。 ・3年生がオクラを育てていたよ。 ・おじいちゃん ・隣のおばちゃん ・〇〇先生 ・上級生 ・元気がないから、ひりょうをあげたい。 ・虫をどうしたらいいか、聞いてこよう。 	<ul style="list-style-type: none"> ◆育てている野菜の状況に応じて、世話の仕方を考えようとしている。 【発言】 【振り返りシート】

7 板書計画

